

日吉ダムが満水になりました！

真冬の出水で、サイレンを鳴らしました

1月30日から31日にかけて、一年で一番寒いはずの真冬に、低気圧による温かい雨が降りました。日吉ダムの流域でも75mmものまとまった雨が降り、上流域の雪融けも重なったためか、川は増水しダムへの流入量は最大で毎秒114立方メートルに達しました。

昨年十月半ばから貯水量の回復をはかってきた日吉ダムですが、この雨で満水となり、ダムから最大で毎秒105立方メートルの放流をしました。これだけの水の量をコントロールして流すためには、普段の操作で使用している「バルブ」という設備ではなく、出水時専用の「ゲート」という設備を使用しますが、この時に下流の川の水位が急に上昇する恐れがありますので、ゲートの放流を行う前に、ダム下流を巡視したり、沿川に設置しているサイレンを鳴らしたりして、沿川住民の方々等に危険を周知しています。今回のサイレンは昨年の6月20日以来のことですが、真冬に鳴らしたのは、平成十年に管理を開始してから初めてのことでした。

